

社会発展におけるチュチェ思想の役割

チュニジア・マグレブ地域チュチェ思想研究センター副所長
ヒシャム・アル・ハジュ

わたしはこのセミナーが、チュチェ思想に対する豊富な建設的な討論になるものと信じてやみません。

わたしはわれわれの間の思想的絆と戦闘的感情が距離の障壁を超越するということを隠しません。

われわれはあなたたちと同じく、人間とその尽きない創造力に対する固い信頼感を持っています。

われわれは朝鮮民主主義人民共和国で暮らしているあなたがたが、金日成主席が創始したチュチェ思想のおかげで幸運に恵まれていることを知っています。またチュチェ思想を現実に具現して発展させるうえで果たす金正日総書記と金正恩総書記の役割を抜きにしてこの思想の伝播と普及について語ることができません。

現在、朝鮮社会の真の発展と人類が目撃する退歩を比べてみると、われわれはチュチェ思想が人類に与える影響力について理解できるでしょう。

朝鮮は団結しており、あらゆる形の差別が根絶されたながら発展して各分野で自給自足と進歩を遂げ、他国ではできなかった人間による人間の搾取を一掃し、人間が自分の運命を自ら切り開いています。

朝鮮は今日、地球上の唯一の社会主义社会として、資本主義社会の腐敗によって多くの問題を抱いている人類にとって、模範となっており希望となっていると言っても過言ではありません。

金日成主席が見通したのは、資本主義は矛盾が大きくなるほどより侵略的で暴力的であるということです。これは資本主義をして解決策を見いだせずに難航するようにしています。問題解決の方途は、人間による人間の搾取を一掃することであるが、資本主義は自分の終焉を意味するその道へと進もうとしません。

資本主義の高慢さが酷くなるほど、難問題は重なります。国家間の各種武装紛争のホットスポットの増加、一国内における緊張、自然侵害、社会悪の伝播など、帝国主義者たちが暗い裏部屋で企み、扶植させている現象で見出すことができます。しかしこの現象は、朝鮮の経験に基づき、生きた現実となったチュチェ思想のとりでの前では力抜けてしまいました。

チュチェ思想こそは、社会のあらゆる矛盾をなくすためのもっとも立派な思想となります。